

緩和ケアチームの 看護師教育

田村 恵子

日本ホスピス緩和ケア協会

京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻臨床看護学講座

緩和ケア・老年看護学分野

専門的緩和ケアに関する看護師教育の現状と課題

苦や死に向き合って生きるがん患者・
家族を支えることが求められる

専門的緩和ケア
を担う看護師



専門的緩和ケアに
関する継続教育の
体制が不十分

知識の習得
のみでは対
応できない

日本で専門的緩和ケアを担う
看護師のコアコンピテンシー
が明確になっていない

実践の熟達
が必要

(緩和ケアチームの看護師によるケアを含めた)
専門的緩和ケアに関する態度・姿勢、実践能力の
向上につながる教育プログラムの必要性



専門的緩和ケア 看護師教育プログラム

**Specialized Palliative Care Education
for Nurses: SPACE-N**

日本ホスピス緩和ケア協会
看護師教育支援委員会

S P A C E - N

Specialized Palliative Care Education for Nurse 3

本プログラムの開発の流れ

【2004年～2010年】

日本ホスピス緩和ケア協会

(全国ホスピス・緩和ケア病棟連絡協議会教育専門委員会)

「ホスピス・緩和ケア看護職教育カリキュラム」作成・普及



2011年～

ELNEC-Jコアカリキュラム
看護師教育プログラム

基本的緩和ケア

専門的緩和ケア看護師
教育プログラム
:SPACE-Nプログラム

専門的緩和ケア

SPACE-Nプログラムの開発のステップ

専門的緩和ケアを担う看護師に求められる
必須臨床能力(コアコンピテンシー)の検討

デルファイ
変法

上記、必須臨床能力(コアコンピテンシー)の向上
を意図した教育プログラムの開発

有識者
レビュー

ファシリテーターマニュアル
作成・事前訓練

パイロットスタディ:有効性と実施可能性の検討

受講前後調査
フォーカスグループインタビュー

SPACE-Nプログラムの実施

専門的緩和ケアを担う看護師に求められる 必須臨床能力(コアコンピテンシー)

1. 患者・家族のニーズや状況に応じて、柔軟にコーディネートする

2. 協働するメンバーをエンパワメントし、良好なチームを育む

3. 患者・家族のありのままを理解し、尊重する

4. 患者・家族のケアニーズを洞察し、問題に早期から対応する

5. 患者・家族のスピリチュアルな苦悩に向き合い、支える

6. 専門的緩和ケアを実践するうえで遭遇する自己や協働するメンバーのストレス・悲嘆に対処する

7. 意欲的に専門的緩和ケアを担う看護師としての役割・責任を果たす

**苦や死に向き合って生きる
患者・家族を支える**

7カテゴリー、
20サブカテゴリー:62項目

SPACE-Nプログラムの目的・対象者

目的

- リーダーシップを発揮し、意欲的に専門的緩和ケアの質の向上に取り組むことができる看護師の育成
- 苦や死に向き合って生きるがん患者・家族を支えるために必要となる必須臨床能力(コンピテンシー)の向上をはかる



対象者

- 専門的緩和ケアを担う場(ホスピス・緩和ケア病棟、緩和ケアチーム、在宅緩和ケア)の臨床経験が2年間以上ある者
- ELNEC-Jコアカリキュラム指導者養成、または看護師教育プログラムを修了している者 等

SPACE-Nプログラムの構成

事前自己学習

専門的緩和ケア
に関する知識

- CD-ROM:専門的緩和ケア看護師教育用ガイドを使用
- 自己学習用のワークシートを作成

研修会(5日間)

対話形式の
グループワーク

- 1, 2回目は連続、3回目以降は1ヵ月毎に開催(計5回)
- 1グループ:10名
- Jacksonの「Safe community of inquiry」の考え方

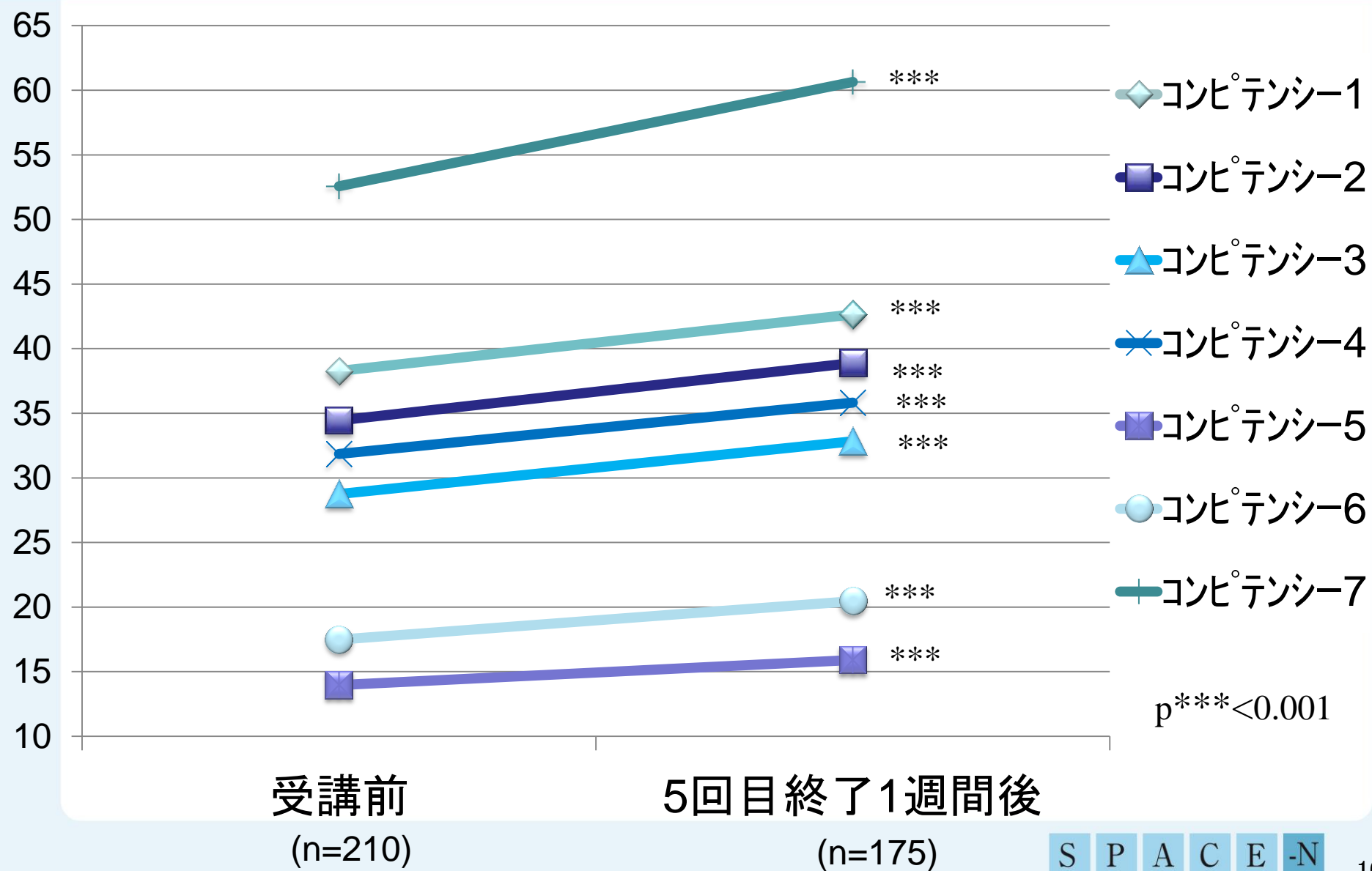
SPACE-N修了者の背景

■ 2014年度～2017年度：全国で計7回開催 (n=210)

項目 (n)	Mean (SD)	Range
看護師の臨床経験年数 (210)	19.96 (6.07)	4-32年
緩和ケア病棟の経験年数 (157)	6.57 (4.33)	4ヵ月-17年
緩和ケアチームの経験年数 (97)	4.70 (2.90)	2ヵ月-13年
在宅緩和ケアの経験年数 (38)	7.77 (6.04)	1ヵ月-20年

認定資格・役職	n (%)	認定資格・役職	n (%)
がん看護専門看護師	22 (10.7)	訪問看護認定看護師	9 (4.2)
緩和ケア認定看護師	83 (40.3)	管理職	64 (31.1)
がん性疼痛認定看護師	20 (9.7)		

結果：全ての必須臨床能力(コアコンピテンシー)の改善



結果：臨床実践における効果・変化（一部抜粋）

患者の反応の変化の実感

- 患者から苦悩やスピリチュアルな面について深く語ってくれるようになった
- 病気に関することではなく、一人の人として向き合った対話 → 苦痛の緩和

メンバーの価値観を大切にし、一緒に考えてくれるようになった

メンバーを巻き込みながら、問題に対応するようになった

問題に柔軟に対応するようになった

協働するメンバーの反応の変化の実感

- コンサルテーションや相談される機会が増えた
- カンファレンスでの協働するメンバーの語り・意見が増えた
- 協働するメンバーで統一したケアを提供できた

SPACE-Nから得られた 専門的緩和ケアの人材育成に関する示唆

- 専門的緩和ケアの人材育成には、必須臨床能力（コアコンピテンシー）を明確にすることが重要
- 自己学習、探究するコミュニティの形成、対話・問答を組み合わせることで、長期間の効果が継続
- 患者・家族の苦痛緩和を促進し、医療従事者からの依頼数の増加や協働の改善につながる必要がある

緩和ケアチームの看護師教育において 今後取り組むべきこと

- 専門的緩和ケアを担う看護師に求められる
必須臨床能力(コアコンピテンシー)に基づく
看護師教育プログラム(例:SPACE-N)の実
施・開催
- 看護師教育プログラム受講と並行して、先駆
的な活動を行っている緩和チームにおける
看護師の実地研修プログラムの構築

参考資料

SPACE-Nプログラムの対象者

下記の条件をすべて満たす看護師

- 日本ホスピス緩和ケア協会の正会員施設に所属している、または準会員である者
- 専門的緩和ケアについてさらに熟達したいという意欲がある者
- 専門的緩和ケアを担う場（ホスピス・緩和ケア病棟、緩和ケアチーム、在宅緩和ケア）の臨床経験が2年間以上ある者
- ELNEC-Jコアカリキュラム指導者養成プログラム、またはELNEC-Jコアカリキュラム看護師教育プログラムを修了している者
- 所属先でリーダーシップやチームの調整役割を期待されており、所属施設の上長（看護職）の承諾・推薦書を得ることができる者

SPACE-Nプログラムの対象者

下記の条件をすべて満たす看護師

- 日本ホスピス緩和ケア協会の正会員施設に所属している、または準会員である者
- 専門的緩和ケアについてさらに熟達したいという意欲がある者
- 専門的緩和ケアを担う場（ホスピス・緩和ケア病棟、緩和ケアチーム、在宅緩和ケア）の臨床経験が2年間以上ある者
- ELNEC-Jコアカリキュラム指導者養成プログラム、またはELNEC-Jコアカリキュラム看護師教育プログラムを修了している者
- 所属先でリーダーシップやチームの調整役割を期待されており、所属施設の上長（看護職）の承諾・推薦書を得ることができる者



SPACE-Nプログラムにおける対話の考え方

Safe Community

of

Inquiry

- 脅かされず、多様な関わり方が認められ、考えたいこと、語りたいことを安心して語れる場・コミュニティを形成する

- 問答しながら相互理解を深め、探究する
 - 物事の本質を掘り下げて考える

対話・問答

探究する
プロセスの体験

探究するコミュニティの
体験(safetyの体験)

SPACE-Nプログラムの内容

	事前自己学習 (該当モジュール)	研修会 (セッション名)
1回目	M1: 専門的緩和ケア M1-1: 緩和ケア病棟 M1-2: 緩和ケアチーム M1-3: 在宅緩和ケア	(コミュニティを開く) 専門的緩和ケアについて考える
2回目	M2: 価値観を尊重するケア M3: 症状マネジメント	価値・価値観について考える 症状マネジメントについて考える
3回目	M4: スピリチュアルケア	スピリチュアルケアについて考える
4回目	M5: 家族ケア・遺族ケア	家族ケアについて考える
5回目	M6: 看護師へのケア M7: 専門的緩和ケアの達成	看護師へのケアについて考える 質の高い専門的緩和ケアの達成について考える

専門的緩和ケアを担う看護師に求められる 必須臨床能力(コアコンピテンシー)

コアコンピテンシー	項目数	スコア範囲
1. 患者・家族のニーズや状況に応じて、柔軟にコーディネートする	11	11-55
2. 協働するメンバーをエンパワメントし、良好なチームを育む	10	10-50
3. 患者・家族のありのままを理解し、尊重する	8	8-45
4. 患者・家族のケアニーズを洞察し、問題に早期から対応する	9	9-45
5. 患者・家族のスピリチュアルな苦悩に向き合い、支える	4	4-20
6. 専門的緩和ケアを実践するうえで遭遇する自己や協働するメンバーのストレス・悲嘆に対処する	5	5-25
7. 意欲的に専門的緩和ケアを担う看護師としての役割・責任を果たす	15	15-75